

# なのはな だより

NANOHANA  
DAYORI

老健ちば

No. **104**

January 2023



ケアセンターきさらづ：コロナに負けるな新年会

## INDEX

1  
2

フォーカス「老健ちば」

〈新年のご挨拶〉

千葉県老人保健施設協会 会長 平山 登志夫

〈研究事例発表大会 会場紹介〉

3  
4

〈特集〉

令和4年度 研究事例発表大会

5  
6

トレンドTOPIX 潮流

〈ニュースウォッチ〉

研究事例発表大会 基調講演

自由気ままに

ペーパーブログ

〈広がれ笑顔の輪〉

館山ケアセンター 夢くらぶ

看護師 安部 満



〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●シルバークエア鎌ヶ谷

●クレイン

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

2023年1月20日 発行

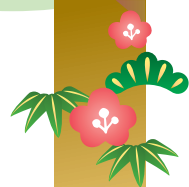
●発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

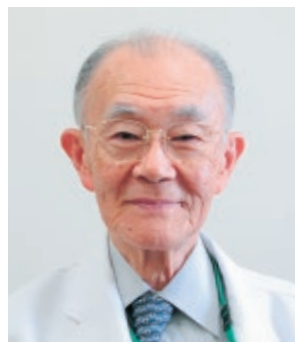
# フォーカス 老健 ちば

2023

# 謹賀 新年



## 新年のご挨拶



千葉県老人保健施設協会  
会長 平山 登志夫

新年あけましておめでとうございます。

本年が千葉県老人保健施設協会にとって、また会員施設、職員の皆様にとっても素晴らしい年となります。事を心より願っております。

新型コロナウイルス感染症は、経口薬の開発が進み老健施設でも入手が可能となっておりますが、変異ウイルスの出現が相次ぎ、いまだ終息の見通しはたっていない状況です。

こうした状況下において12月に3年ぶりに開催された令和4年度研究事例発表大会は現地参加とWEB参加というハイブリッド型で開催いたしました。このような開催方法は

これまでの大会では行われたことがなく、全く初めての試みとなりました。大会の裏方として研修委員や広報委員の方々のご努力により無事開催できた事に厚くお礼申し上げます。

2024年には医療・介護・障害の同時改定がありますが、同時改定に向けた科学的裏付けの手段としてLIFEが2021年度に導入されました。この蓄積により地域包括システムの構築に向けた流れは今後一層強化され、老健施設は在宅支援・在宅復帰施設として、ますます重要性を増すこととなりますので、様々な機能をより強化し、ご利用者やご家族の期待に応えられるよう取り組んでいかなければなりません。協会といたしましては、老健の理念、役割を再確認し、新たな試みを検討しながら鋭意努力をしておりますので、会員施設の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 『感染症研修会』開催

令和4年10月11日(火)、ホテルポートプラザにて、千葉県循環器病センター医療安全管理室の大塚モエミ様を講師に迎え、『感染症研修会』が開催されました。

新型コロナウイルス第七波が下火になって間もない時期での集合研修であったことや、感染対策として各施設1名のみ制限させて頂いたことから受講人数は少なめでしたが、参加者の多くが自施設でのクラスターを経験しており、研修参加の目的が個々に明確であったように感じられました。グループワークはそれぞれの経験を伝え合う貴重な機会となると共に、互いに励まし合い称え合うことで、同じ想いの仲間たちとの繋がりを確かめることができ、今後の活動に向け新たな勇氣になったように思います。

久しぶりの集合研修は、オンラインとは違った温度感のある研修となりました。



# 研究事例発表大会 会場紹介

令和4年12月2日、3年ぶりに千葉県老人保健施設協会による研究事例発表大会が開催されました。今回は、コロナ対策も踏まえ、初めてハイブリッド研修を行ったので、その模様を紹介します。



カメラ  
3台設置

## 研修委員長の香取氏による 開会宣言

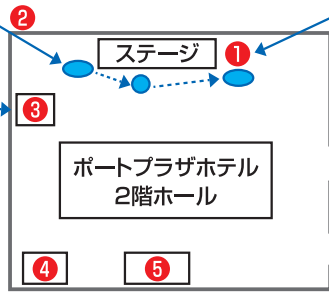
3年振りの研究事例発表大会の為、緊張感と開催できる嬉しさが伝わる開会宣言でした。



チャット  
画面

チャットを読み上げ、  
zoom参加者との  
質疑応答

チャット  
内



入口付近で手指消毒、  
体温チェック、マスク装着の  
声掛けの徹底

NDソフトウェア様の協力  
により、カメラ3台をスイッ  
チングし、zoom参加者に  
見やすい環境を作る



(中央からの写真)  
ホテル内の空調は室内の空気を天  
井から外気に排出する事により、空  
気感染防止に努めてます

今回、ハイブリッド形式の研修を行うにあたり、機材やノウハウ等経験のあるNDソフトウェア様にご協力をいただきました。

## 香取研修委員長と 小高所長にお聞きしました。

質問) 今回、ハイブリッド研修を終えて率直な感想をお聞かせください



NDソフトウェア株式会社  
関東第一営業所  
小高所長

今回、香取委員長や研修委員の方々との打ち合わせの際にzoom参加者数の予測が出来なかったため、zoomビデオウェビナー方式で行いました。ウェビナー方式ですと、質疑応答をチャットの文字で行うのですが、zoomミーティング方式で100名以下なら、大きなプロジェクターを使い、zoom参加者の顔が見え、生の声でディスカッションが可能になります。来年も今回のような大会に参加させていただけるのであれば、今回の経験を活かしてzoomミーティングで対応をさせていただけたら幸いです。



千葉県老人保健施設協会  
香取研修委員長

今回の反省点としてネットワーク環境の問題と発表前の入れ替え時で戸惑った事が挙げられます。来年もハイブリッド形式の研修を行わなければならない状況ならば、今回の経験を活かして参ります。

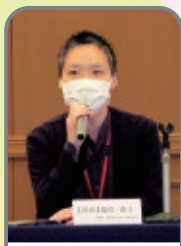
来年の研究事例発表大会は9月開催を予定しています。毎年、11月頃に全老健の全国大会が行われていますが、その前に千葉の研究事例発表大会を行う事で、全国大会の大きな舞台の練習になる事や全国大会前なので、少し修整が出来たり、尚且つ、発表者同士が顔見知りになり、千葉県内で横の繋がりが出来、全国大会に向けて千葉県の老健が一丸となる事を望んでおります。

最後に、今回、無償でご協力をいただきましたNDソフトウェア様には心から感謝いたします。

来年は9月に研究事例発表大会を行うので、5月辺りから募集いたしますので、皆様、ご参加のご協力を宜しくお願いいたします。

# 令和4年度 「研究事例発表大会」

in ポートプラザちば



座長

塩原 貴子氏  
フェルマー塔船橋  
事務長代理



会場及びリモート参加の皆さんから沢山の質問があり、実りある発表大会となりました。

## 皆さん 発表ありがとうございました!

発表者の皆さんにコメントをいただきました

- ① 今回のテーマを選んだ理由
- ② 取り組みを通じての感想(良かったことや大変だったこと)
- ③ 発表を終えての感想



### 秀眉園

牛丸 和香奈さん(管理栄養士)  
中村 朋美さん(管理栄養士)

テーマ

#### 自助具の導入と活用

- ① 施設で初めて自助具を導入し、良い結果が得られたため選びました。
- ② 自助食器を導入することで、やりにくさを改善できればと思い取り組みましたが、結果的に自立支援やQOLの向上にもつながりました。入所者の中にはできないわけではなく、出来るけど食べにくいから職員に頼ってしまうという方もいるのではないかと感じました。しかし、自助具を使用することにより、自力で食べられるようになる人もあるということがわかりました。そのため、自力で食事摂取ができるように個々に合った自助具の検討を継続していきたいと思えます。
- ③ 他の施設での取り組みを知り、自分の施設でも取り入れられることは参考にしていきたいと思えました。



### 佐倉ホワイエ

菊池 嘉志さん  
(理学療法士)

テーマ

#### 通所リハビリ利用頻度の違いが 転倒リスクに及ぼす影響

- ① 通所リハビリの利用回数によって、漠然と生活状況や身体機能の改善に差があると感じていた為、改めて利用回数に着目し検討を行いました。
- ② 今回、改めて研究を行ったことにより、自分が考えていた以上に利用回数による差があると感じました。今後も検討を重ねて、地域の皆様がよりよく在宅生活を続けていけるよう、貢献していければと思います。
- ③ 今回初めての発表だったため、大変緊張しました。今回の発表を通して、自分の考えをまとめ発信することの難しさを感じました。それと同時にその大切さを改めて感じる事が出来ました。



## メディケアー やまゆり

山本 隼也さん  
(理学療法士)

テーマ

### 客観的評価バッテリーを用いた 事故防止への取り組み

①老健リハビリ職として、転倒・転落事故を未然に防ぐにはどうすればよいか、どのような方法・対策がとれるか試行錯誤している中、利用者様ひとりひとりの事を他職種間で知ることが必要であると考えました。迅速かつ簡便に行える客観的な転倒評価を職員全体で情報共有、意識向上のツールにできれば転倒転落防止に繋がられるのではないかと考え、今回の発表に至りました。

②年齢は元より様々な身体的疾患、精神的要因、環境的要因等が複雑に絡み合っている為、転倒リスクの評価・把握はとて難しいと感じました。

③転倒リスク評価は多く存在していますが、超高齢の車椅子使用者には困難な項目が多いことや、身体的疾患や認知機能低下によって評価項目の遂行が困難で正確な情報が得られないことがあります。今回の評価をすすめ、簡便に正確な評価として使用できるか研究を引き続き行っていきたいと思います。



## はつらつ リハビリセンター

福田 裕さん  
(理学療法士・副施設長)

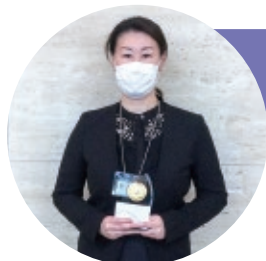
テーマ

### コロナ対策から業務改善に つながった事例報告

①どこの施設でも、新型コロナウイルスの対応には苦しみ・悩まれている事と思います。出来なくなったことや辛いことなどネガティブな面に焦点を当てるのではなく、この経験があったからこそ得ることができたというポジティブな報告ができないかと考え、今回の発表に至りました。

②もともと効率アップのために取り入れていたシステムや機器がコロナ対策として活用でき、さらに別のメリットが見いだせた点が良い結果となったと感じています。

③今回新たな試みとしてハイブリッドでの開催となり、運営の皆様のご苦労も多かったと思います。報告できる場を作ってくださったことに感謝をしています。また、他施設の報告に加え基調講演も参加させて頂き、とても勉強になりました。これからも、どんなことにもポジティブに、少しずつでも良い方向に向かうよう邁進して参ります。



## フェルマータ 船橋

杉山 たみ枝さん  
(施設ケアマネジャー)

テーマ

### 利用者の尊厳と個別支援

～自立支援促進加算への施設ケアマネジャーとしての思い～

①施設ケアマネの役割が大きいと考えました。自立支援促進計画と施設計画書を連動させ運用することができたため、このテーマを選びました。

②情報収集は時間がかかりますが、利用者との会話が增え、課題や希望が見つけることができ、在宅復帰時に必要なサービスが提案できたこと。

③自立支援促進加算を算定している施設がどのくらいあるかわからないが、これから算定を検討している施設の役に立ってほしいと思います。



## おゆみの

藤田 達也さん  
(理学療法士)

テーマ

### 介護負担アンケートによる 在宅復帰支援の取り組み

①当施設で在宅復帰を進める中で、利用者様が在宅復帰できる状態まで改善したとしても、ご家族様の不安な思いが払拭できないと、在宅復帰できなかった経験があり、ご家族様の不安を少しでも理解し、解決できる支援ができればなと思い、今回のテーマを選びました。

②今回の研究を通して、ご家族様の不安な思いを、少しでも理解することができたかなと感じております。この取り組みのおかげで、カンファレンス時に、利用者様だけでなく、ご家族様の状態を考慮した復帰後の生活やサービスの提案等、より詳細な提案ができるようになりました。

③今回は、このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。今後も利用者様・ご家族様により良いサービスが提供できるよう、このような取り組みを継続していきたいと思っております。

## 令和6年度 介護保険法改正審議の 動向と今後の老健の 目指すべき方向性

ニュースウォッチ

### 研究事例発表大会 基調講演



講師 小濱 道博 氏

令和4年12月2日に開催された研究事例発表大会【基調講演】において、小濱介護経営事務所代表、及び(株)ベストワン取締役でもある小濱道博氏をお招きし、「令和6年度介護保険法改正審議の動向と今後の老健の目指すべき方向性」についてお話しいただきました。

小濱氏は、日本全国で介護経営支援を手掛け、年間250件の講師実績をお持ちです。

今回は、令和4年11月28日に行われた社会保障審議会介護保険部会で検討された内容も含め、介護業界全体の動向をうかがいました。

骨太の方針2022（22.6.7閣議決定）については、

- ①現場で働く方々のさらなる処遇改善。
- ②DXを含む技術革新を通じたサービスの効率化・質の向上。

③介護サービス事業者の経営状況に関する全国的な電子開示システム等の整備。

④タスク・シフティング（介護職が可能な認定特定行為の拡大など）や経営の大規模化・協働化の推進等4項目が決定されています。

また、慢性化している介護人材不足については、人員配置基準の柔軟化（3:1→4:1）も検討されており、「介護の質の維持」と「介護職員の負担軽減・処遇改善」を確保するため、業務の明確化と役割分担を進め、ICT化の促進や介護助手の活用が期待されています。

地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進については、在宅サービスの基盤整備として、既存サービスの統合化を進め新たな複合型サービス（訪問介護とデイサービス等）を導入、また通所リハビリテーションも地域密着型（月額包括報酬）となる可能性もあり、今までのプロセス重視から成果を重視する方向とのこと。

令和4年11月28日の社会保障審議会介護保険部会では、給付と負担について審議されています。

- ①第2号被保険者の対象年齢引き下げ。

②第1号被保険者の対象年齢の引き上げ。

③補足給付の公平性確保のためマイナンバー制度の活用。

④介護老人保健施設及び介護医療院の多床室の室料負担。

⑤ケアマネジメント（居宅支援）10割給付に関する給付のあり方。

⑥軽度者（要介護1・2）の生活支援を市町村の総合事業へ移行。

⑦保険割合2割の判断基準見直し。

⑧保険料負担の多段階化を行い高所得者の標準乗率の引き上げ。

特に④の介護老人保健施設多床室の室料負担は、利用料に直結する問題であり、特に長期滞在型の老健（その他型・基本型）にとっては、利用者の経済的負担が増えるため特養への早期退所等大きな影響を及ぼすと考えられます。

今回の小濱先生の講演は、現在の介護動向をわかりやすく解説してくださり、私たち老健職員にとって大変有意義な内容だったと思います。

# 広がれ笑顔の輪

館山ケアセンター 夢くらぶ 看護師 安部 満

2020年2月3日僕は、TVから生中継されていた横浜港に帰港したクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号のニュースを見ていた。その時は、まだどこか他人事のような感覚で見ていた。その病気は、原因不明の肺炎「COVID-19」(新型コロナウイルス感染症)と名付けられ、あつという間に世界中に拡散し、日本でも感染者急増を受け、政府が全国を対象に「緊急事態宣言」を出して、感染拡大防止へ向けて外出自粛などの徹底を国民に呼びかけた。非日常の世界を迎えることになった。

職場も利用者は、寝る以外は常にマスク装着しテーブルには、当たり前のようにアクリル板が並べられている異常な光景。ある朝、検温のため一人の女性の部屋に行くとき体を丸くしてすすり泣いていた。彼女に声を掛けると「子どもに会えない。どうしてこんなになっちゃったんだらうね、くやしー」その言葉に彼女の気持ちを救う言葉を見つけることが残念ながら僕には、できなかつた。その

日、家に帰っても彼女の言葉が頭から離れない。彼女の様な気持ちになっているのは、彼女だけではないこの日本中、誰もがコロナで心も体も悪影響を受けているのだ。ケア従事者として「今、何ができるのか」考えた。考えた末、それは日本中のみんなが笑顔になって楽しい話をして元気になつてもらうことその願いを僕は、本という形にした。本の名は、「会話に花が咲くクイズ昭和物語」この本を多くの方に手に取って遊んでほしい。広がれ笑顔の輪♪



## 福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>

TEL.048-263-9180 FAX.048-263-3452

### ～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

**インジニアス株式会社**

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

## 出張 美容 理容の リンデンB・I

出張美容サービスのご案内

出張美容・理容サービスのご依頼・お問合せ先エリア

- リンデンB・I 成田 TEL.0120-345-833  
(成田・香取・神崎町・米町)
- リンデンB・I 東葛/東葛南/東葛東岸 TEL.0120-864-383  
(流山・柏・我孫子・野田・松戸・鎌ヶ谷・船橋・市川・浦安・白井・印西)
- リンデンB・I 市原木更津/千葉中央 TEL.0120-446-151  
(千葉市・習志野・市原・袖ヶ浦・木更津・君津・富津・長柄町・長南町)
- リンデンB・I 佐倉 TEL.0800-123-7788  
(佐倉・八千代・四街道・酒々井町)

### ③つの安全・安心

全国3,000軒以上の実績  
カフ、パーマ、カラー、ひげ、お顔のお手入れ  
美容室・理容室と変わらぬサービスのご利用

#### カルテ

20年前より活用。  
ご利用者様の情報を大切にしております。

#### オリジナル ヘアキャッチャー



・髪の毛が床に落ちない  
・掃除が防ぎます。  
※風用新薬取付

#### 衛生

10年前より  
・アルコールの他に次亜塩素酸水にて除菌  
・マスク着用



・毎朝検温を実施

ご利用料金はそれぞれの施設様に合ったお見積もりをさせていただきます。



# ちのはな スマイル

明るく! 元気!

施設の笑顔をご紹介します!



## ■ シルバーケア鎌ヶ谷

当施設は、入所定員160名と県内でも大型の介護老人保健施設です。「ともに歩む介護を目指して」をモットーに、多職種連携のもと在宅復帰・支援に取り組んでいく施設です。令和5年から本格的に大規模修繕工事を行い、令和6年にはパワーアップした施設に生まれ変わる予定です。

住 所：鎌ヶ谷市初富125-1  
電 話：047-441-2005  
開設日：1999年2月8日  
入 所：160名  
通 所：70名

ご利用者様が  
マンネリな暮らしにならないよう  
行事にも力を入れています。  
コロナ禍でも「power」!



- 後列  
①野中康代(介護副主任)  
②渡辺春美(介護副主任)  
③後藤靖(介護副主任)  
④菊池啓之(介護副主任)  
前列  
⑤渡邊真由美(介護主任)  
⑥上道悦子(介護士長)  
⑦高橋啓子(介護主任)

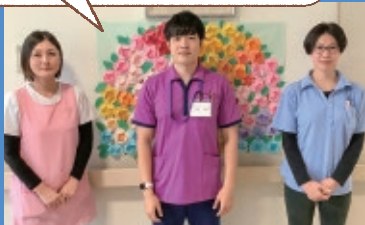
## ■ クレイン

市原市鶴舞のクレインです。御利用される皆様と心を近付けて、必要なケア・リハビリテーションを提供します。クレインは「鶴」です。私達が何気ない幸せを運ぶ鶴であれば嬉しいです。

住 所：市原市石川1078  
電 話：0436-88-4500  
開設日：1999年2月10日  
入 所：100名  
通 所：60名

利用者様の穏やかな様子は私たちに笑顔をくれます。  
写真はちょっと緊張してます。

- 左)  
青木真澄(看護師)  
中)  
安部元喜(理学療法士)  
右)  
貝塚江里(介護福祉士)



## 老健ちばカレンダー

1/17…管理者研修会

3/9…事務長会

2/22…リスクマネジメント研修会

※会場開催、WEB開催織り交ぜながらその他の研修も準備中です。

## ● 編集後記

- 明けましておめでとうございます。昨年12月2日、3年ぶりに研究事例発表大会の取材ができました！ コロナ禍で大変な中、貴重な事例を提供して下さった施設の皆様には感謝、感謝です。コロナで苦労することも多々ありますが、新たな気づきや学んだこともあったと思います。今年こそ、皆様方の施設へ訪問取材に行ける日を楽しみに、広報委員頑張ります。(坂本)
- 12月の研究事例発表大会を取材させて頂きました。3年ぶりの開催でしたが、発表を聞く機会は貴重だと改めて感じました。お忙しい中、発表頂いた施設の皆さんに感謝です。明るい1年になりますように、皆さん今年もよろしくお祈りします。(白石)
- 新しい年になりました。しかしコロナがまだまだ続いており、行事や面会など制限している施設もあると思います。今年は是非いい年になりますように！(神作)

- 3年振りに開催された研究事例発表大会に、参加できました！ 時代は変わりましたね。世界中からオンライン参加ができるなんて！ でも会場の雰囲気はやっぱり最高でした。会員の皆様に、色々な場面でお会いできることを楽しみにしています。(若林)
- 明けましておめでとうございます。104号は研究事例発表大会の内容でまとめてみました。大会の雰囲気が伝わったら嬉しいです。来年は9月に研究事例発表大会を行う予定になっているので、発表者同士が11月の全国大会前に顔見知りになり、繋がるのは凄く良い事だな〜とワクワクします(福田)



Happy  
new year  
2023

